

ワのワニール

Fool On The Hill

作・芝田勝茂 絵・山野隆司



学校のひとつ手前で降りた。改札を出れば駅前広場、ゴミひとつなく、ビル群が空にむかってそびえている。さすがブロック第二都市カワサキらしい風景だ。駅前広場から降下歩道でターミナルに降り、とある一画の隅のマンホール蓋を開いて階段を降りれば、もうそこは下界で、全世界の汚物を集めたような貧民街である。

カワサキといえれば世界都市だから、地上はよそよそしく清潔だが、下界では貧民窟から風俗街、そして大型安売り店までそろっている。そのひとつ「コンボイ」では、あらゆるものがネットや通常店の半値以下で売られている。なのにほしいものを指させば手の届かないものばかり。「こいつは何をいってるんだ」という店員の目をさけて、別のコーナーで古い立体プリンターを買った。材料は別途仕入

れなければならぬ。優秀なプリンターなら原料はナノに近くなり、そこらへんの砂や泥水でも素材にして立体コピーをつくりあげるが、安物はそれなりに高価な素材を買わねば役に立たない。安い素材をさがしまわったあげく、あきらめてコンボイを出る。舌打ちしながら歩いていると、道に面したテーブルでコーヒーを飲んでいた若い男が声をかけてきた。長い髪、長い足をくんですわっている。

「兄ちゃん、なんか探し物？」

へたにこの手の男とかかわると、ろくなことがない。

「ほしいものがあるけど、金がない。へへっ。凶星だろ？」

「な、なんでわかるの。」

「コンボイに来る若い男はみんなそうだよ。そんな安物プリンターじゃ、何もつくれないぜ。どうだい、むだな探し